

新宿中央公園 開園50周年記念

～写真でつづる半世紀の歩み～



平成31年2月
新宿区みどり土木部みどり公園課

はじめに

新宿中央公園は区立公園として最大の面積を誇り、そびえ立つ高層ビル群の中にある大都会のオアシスとして、多くの利用者に親しまれているみどり豊かな公園です。昭和 43(1968)年 4 月 1 日に新宿副都心計画の一環により、先進都市・新宿を支える重要な都市基盤として開園し、平成 30(2018)年に開園 50 周年を迎えました。

【新宿中央公園の概要】

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 11 番

面積：88,065.95㎡

開園年月日：昭和 43(1968)年 4 月 1 日

公園種別：風致公園

都市計画：新宿 7.4.10[新宿西](昭和 35 年 6 月 15 日決定)

写真 1



1 公園誕生までの歩み

1 江戸時代から大正時代

現在の新宿中央公園の辺りは、江戸時代には角筈村の田畑が広がっており、公園の東側付近には、諸大名や旗本の武家屋敷が集まっていました。また、現在は公園に隣接している熊野神社の境内には、当時は十二社池と呼ばれる広い池があり、江戸後期から大正にかけて行楽地として賑わっていました。



江戸名所図繪 十二社
(歌川広重(二代) 画)
文久2(1862)年
新宿歴史博物館所蔵

写真 2



十二社池 (大正4年ごろ)

2 淀橋浄水場から副都心計画へ

江戸市中に水を供給していた玉川上水は、水質悪化などにより、その役割を終え、明治31（1898）年12月1日に広さ約56haの淀橋浄水場がつくられました。

写真 3



淀橋浄水場（第一生命ビル前から）（昭和30年）

写真 4



淀橋浄水場（昭和39年）

写真 5



十二社天然温泉会館（年代不明）

写真 6



小西六写真工業と淀橋浄水場（昭和 38 年）

写真 7



小西六写真工業北門正面（昭和 38 年）



淀橋浄水場（昭和 37 年）
（逆光に浮かぶのは、東京ガスのタンク）



淀橋浄水場入口（大正 13 年頃）

近代水道の誕生により東京の生活環境は大幅に改善しましたが、水道需要が急激に伸びたことや、新宿駅周辺のまちの発展の影響などから、浄水場の移転の要望が出始め、昭和 40（1965）年 3 月 31 日に淀橋浄水場は廃止され、東村山浄水場に移転しました。

そして、淀橋浄水場跡地の再開発計画として新宿副都心計画がスタートします。



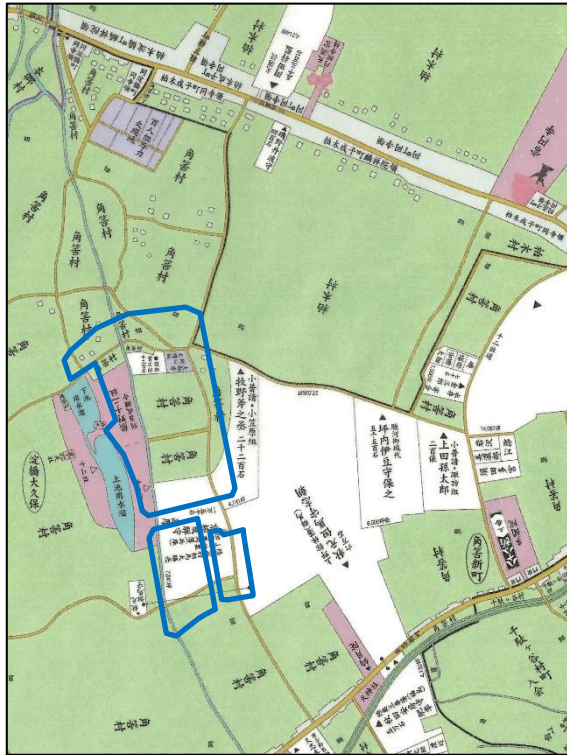
京王線新宿駅周辺（地下化される前）（昭和 32 年頃）



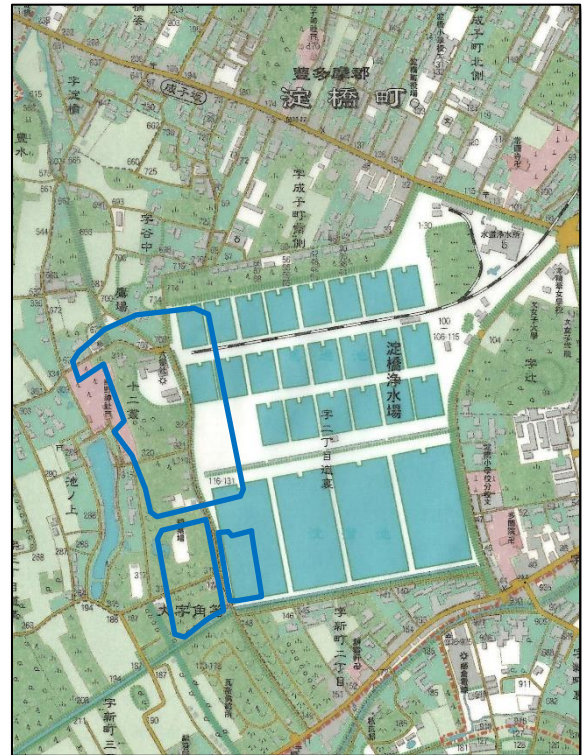
立体広場以前の新宿駅西口（昭和 33 年）



開発前の新宿駅西口（小田急線入口付近）（昭和 34 年頃）



江戸時代
(浄水場以前)



明治時代



現代

新宿中央公園の範囲

(出典)「新宿文化絵図 重ね地図／新宿区地域文化部文化国際課」を加工して作成

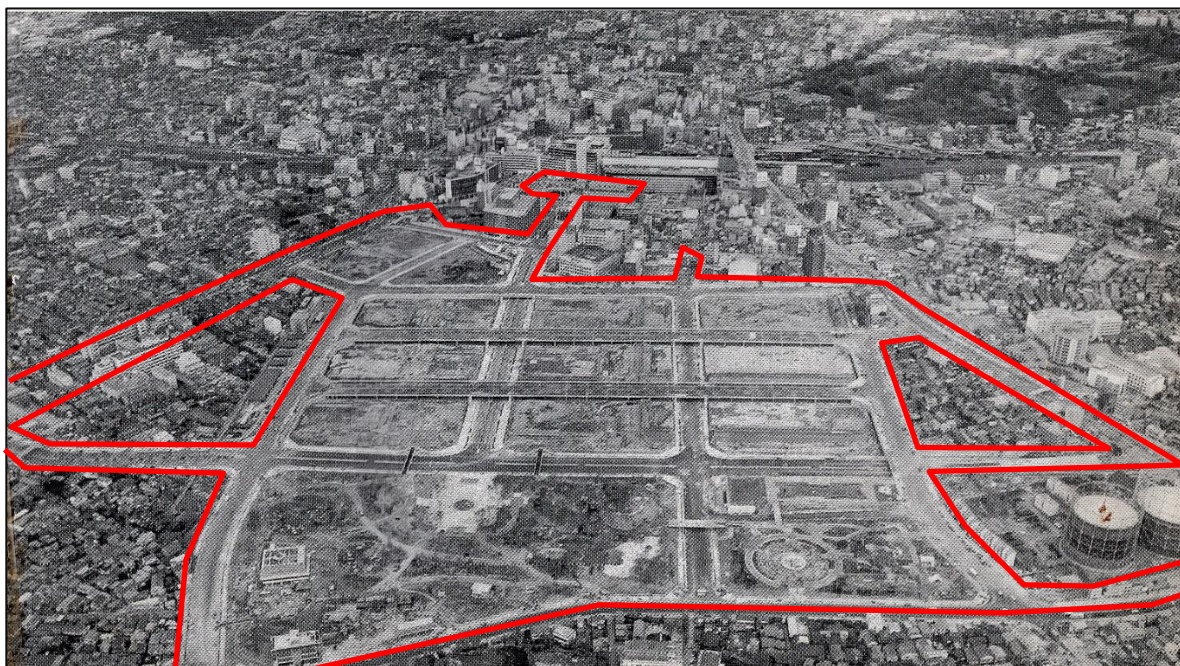
2 新宿中央公園の誕生

1 新宿副都心計画


昭和 30 年代初め、東京都心部の一極集中型から多心型の都市構造にするべく、その一角を担う新宿副都心計画が、昭和 35(1960)年 6 月、淀橋浄水場跡地を含む約 56ha のエリアにおいて、都市計画決定されました。

新宿中央公園は、この新宿副都心計画事業の主要な要素として、昭和 43(1968)年 4 月、事業費約 61 億円をもって整備されました。

写真 13



新宿副都心の造成中の航空写真

 新宿副都心計画事業区域

2 整備のコンセプト

新宿中央公園は、オフィス街に接近した公園であるため、公園設計の重要なテーマとして「都市にみどりを」を掲げ、広く一般都民に自由に利用され、さらにサラリーマンの軽い運動や静かな観賞を主とした休息を主眼に計画されました。

【整備の基本方針】

- 多様な利用目的に対応できる多機能性
- 浄水場の記憶を残す水施設の配置
- 高木を植栽しつつ、新宿駅からの街路の見通しを確保

3 造成中の様子

新宿中央公園の予定地は、南北延長約 500m、東西約 150~260m の不正形のエリアで、浄水場の一部及び元小西六写真工業株式会社（現コニカミノルタ）の敷地、さらに元東京生命保険会社の運動場等を含むエリアとなっていました。

写真 14



新宿中央公園の全体写真
（昭和 45 年）

写真 15

写真 16



建設中の正面広場（昭和 42 年）

写真 17



建設中の正面広場（昭和 42 年）

写真 18



建設中の道路（昭和 43 年）



正面広場前の道路（昭和 43 年）

写真 19



造成中の新宿副都心（昭和 42 年）

写真 20



開発が進む新宿副都心（昭和 43 年）

写真 21



熊野神社（昭和 42 年）

写真 22



十二社弁天池（昭和 42 年）

4 開園時の公園の様子

公園は、東西に走る幅員 30m の新宿副都心街路 3 号線により南北に分かれ、さらに南地区においては、幅員 11m の同街路 16 号線により 2 分割されました。

写真 23



新宿中央公園から見た超高層ビル群（昭和 50 年）

写真 24



新宿 N S ビル屋上から新宿中央公園方面を臨む（昭和 57 年頃）

(1) 正面広場（北地区）

新宿副都心街路4号線の突き当たりにある正面広場は、新宿駅方面からの視線を誘導するため道路面まで切下げ、池と噴水を設置していました。

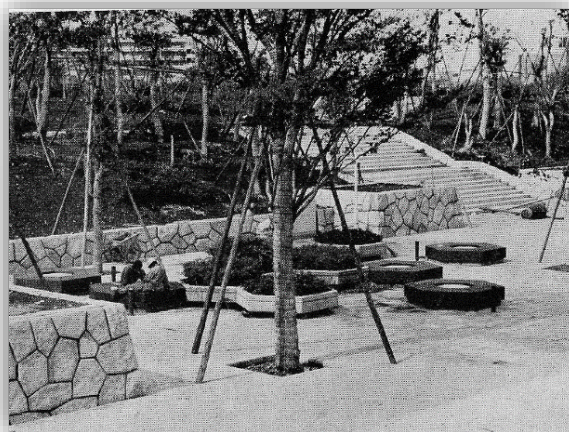
広場中央には、内径21mの正円形で水深50cmの噴水池を設け、豊富な水が様々な形に変化する噴水となるように設計されていました。

写真 25



新宿副都心街路4号線からみた正面広場

写真 26



正面広場の六角ベンチ

写真 27



現在の正面広場

写真 28



正面広場の噴水

(2) 休憩所と展示場（北地区）

北地区の地下 6,000 m³には、周辺一体の電力需要に備えるための超高圧変電所が設けられ、この冷却塔を取り入れた地上 3 階建ての鉄筋コンクリートの建物が作られました。1 階は来園者の休憩所として、2 階は展示場や資料室として整備されました。

なお、現在は「エコギャラリー新宿」として区民に親しまれています。

写真 29



休憩所と展示場（現エコギャラリー新宿）

(3) 六角堂・富士見台（北地区）

北地区の東南角付近は地盤をそのまま残し、淀橋浄水場時代の六角堂四阿（あずまや）が保存されました。ここは園内の最高地盤（標高東京湾中等潮位+45m）でもあったため富士見台と名付け、休息と展望の場所としました。

写真 30



富士見台の六角堂

(4) 児童遊園地・野外ステージ（南地区）

写真 31

児童遊園地は南地区に 2 か所、約 2,000 m²を設け、大砂場に動物群を配置したほか、各種児童遊戯器具が配置されました。



写真 32



児童遊園地の動物群

写真 33



すべり台（現在も一部を改修して使用）

現在ジャブジャブ池となっている広場には、直径 50m、面積 1,880 m²のサンクンガーデン（沈床花壇）があり、中央に内径 17m の正円形の噴水池を設置してあります。



写真 35



児童遊園地の傘型水幕噴水

また、南地区の地下 3 m 下に排水池が築造され、その換気塔が地上部に突出するため、小集会や音楽会等の催しが行えるよう野外ステージを整備し、意匠に配慮しました。

写真 36



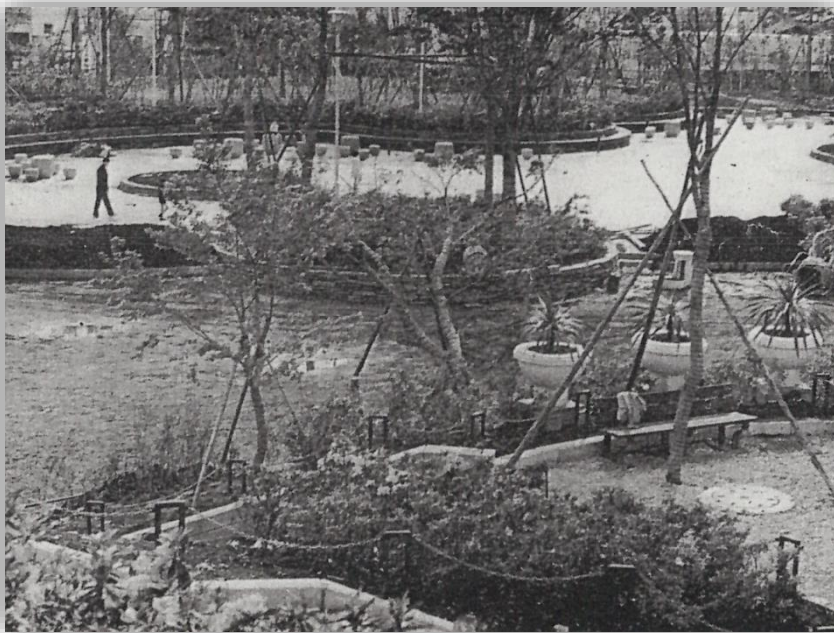
野外ステージ

(5) 植栽

植栽樹木は、関東の名木といわれるケヤキの大木を主に、東京都の代表木であるイチヨウや武蔵野の樹林風景を取り入れた、ナラ、クヌギ等の雑木林が作られました。また、花や木の実の観賞のために、桜や梅・桃・さざんか等の花木も多く植えられました。

また、新宿副都心建設事業に従事した有志の手によって、昭和 43(1968)年に、公園地区の一隅に記念樹としてメタセコイヤの苗木を 5 本植え、新宿副都心の速やかな発展を願いました。

写真 37



富士見台から見るテラス広場の様子

写真 38

写真 39



記念植樹されたメタセコイヤ



新宿中央公園と京王プラザビル
(昭和 45 年)

2 公園を取り巻く様々な動き

(1) ホームレスの増加

バブル崩壊後の不況により、一時新宿中央公園はホームレスで埋め尽くされるほどの状況となりました。そのため平成 16 年度から区は対策に力を入れ、関係部署が協力し粘り強く路上生活者自立支援事業を展開し、1 年ほどで 210 戸あったテントが 30 戸まで減り、平成 27 年には、園内に住むホームレスはいなくなりました。

写真 45



ホームレスによるテント

(2) 時代要請への対応

新宿中央公園は、常に施設の老朽化や時代のニーズに合わせながら機能の充実・強化を図ってきました。昭和 63 年度に木製遊具を整備し、平成 5 年度に公園大橋を整備しました。平成 9 年度には、都営大江戸線の建設に伴う水の広場の改修、平成 14 年度にはビオトープの設置、平成 26 年度は多目的広場内にフットサルコートを開設、平成 28 年度は、公園利用や観光等を促進するため、園内 5 か所に自転車シェアリングのサイクルポートを設置しました。

写真 46



木製遊具の整備（昭和 63 年度）

写真 47



ビオトープの設置（平成 14 年度）

写真 48



フットサルコートの整備（平成 26 年度）

写真 49



サイクルポートの設置（平成 28 年度）

(3) 指定管理者制度の導入

平成 25 年度に指定管理者制度を導入し、新宿中央公園の管理を民間委託することになりました。管理を委託したことで、夜間でも公園内の見回りが強化されて治安が向上し、さらに夏の定番となりつつある“水と緑の Evening Bar!!!”による屋台の出店やシネマ上映、その他週末のイベント開催は、新宿中央公園の活性化に一役買っています。

写真 50



水と緑の Evening Bar!!!

写真 51



ツリークライミング

写真 52



アウトサイドフェスタ

写真 53



ダイバーシティパーク in 新宿

写真 54



花壇の整備

写真 55



ハンギングバスケット

4 これからの新宿中央公園

1 更なる魅力向上に向けて再スタート

区は、新宿中央公園について、公園の特色や西新宿をはじめとした新宿駅周辺の魅力を十分に活かし、憩いと賑わいのある誰もが足を運びたくなる公園としていくため、平成29年度に公園づくりの基本的な計画となる「新宿中央公園魅力向上推進プラン」を作成しました。

本計画に基づいて公園の魅力向上を図ることで、まちの魅力を高め、さらには新宿区全体の魅力や価値も高めていくことを目指していきます。

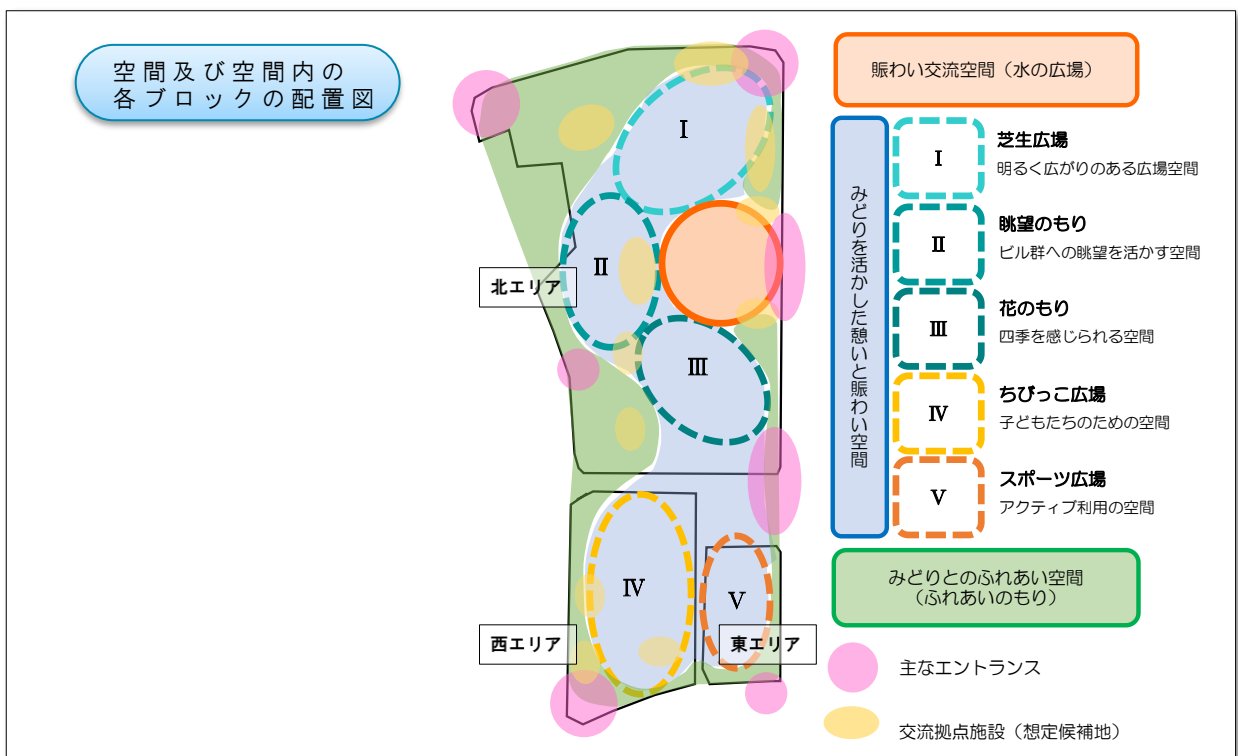
具体的な施設整備や管理運営にあたっては、公園を3つの空間（賑わい交流空間・みどりを活かした憩いと賑わい空間・みどりとのふれあい空間）に分け、それぞれの空間の特性に応じた取り組みを展開していきます。



芝生広場の整備イメージ



眺望のもりの整備イメージ



2 民間活力の導入

写真 56

この計画に基づき、平成 29 年度末には、老朽化した大型複合遊具を改修しました。

また、平成 30 年度には、水の広場にトイレを新設し、水の広場とちびっこ広場のトイレにネーミングライツ(命名権)を導入しました。



大型複合遊具の整備後(平成 29 年度)

写真 57



(写真 57, 58)

ネーミングライツ事業による
トイレのイメージアップ化
(平成 30 年度)

写真 58



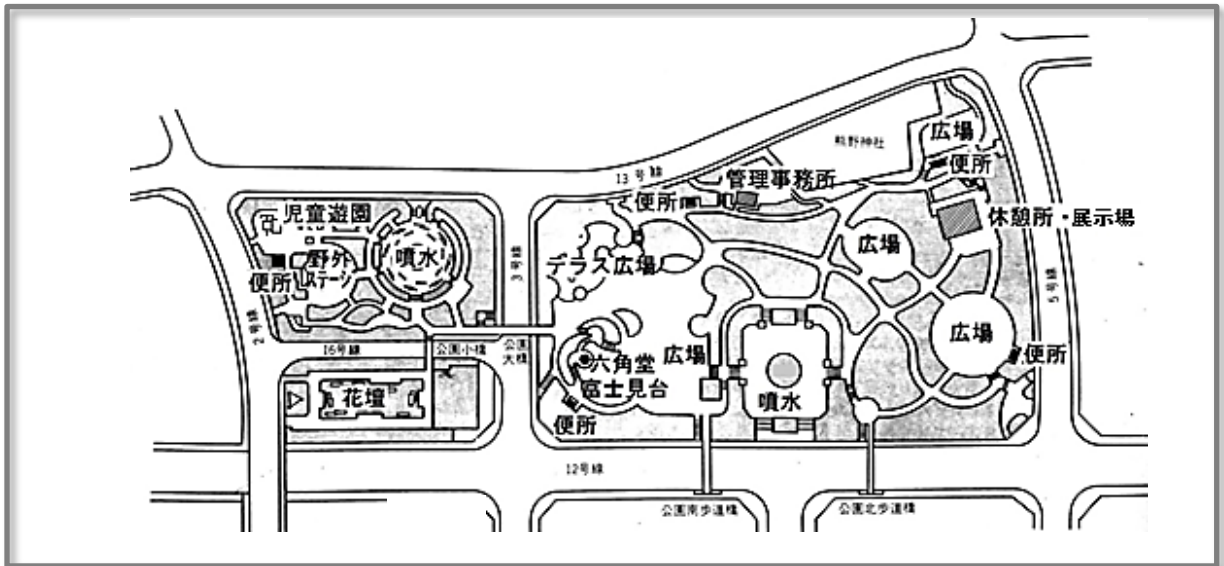
交流拠点施設整備イメージ

さらに、芝生広場の再整備計画にあわせ、民間事業者によるカフェ・レストラン等の交流拠点施設の整備を推進しています。

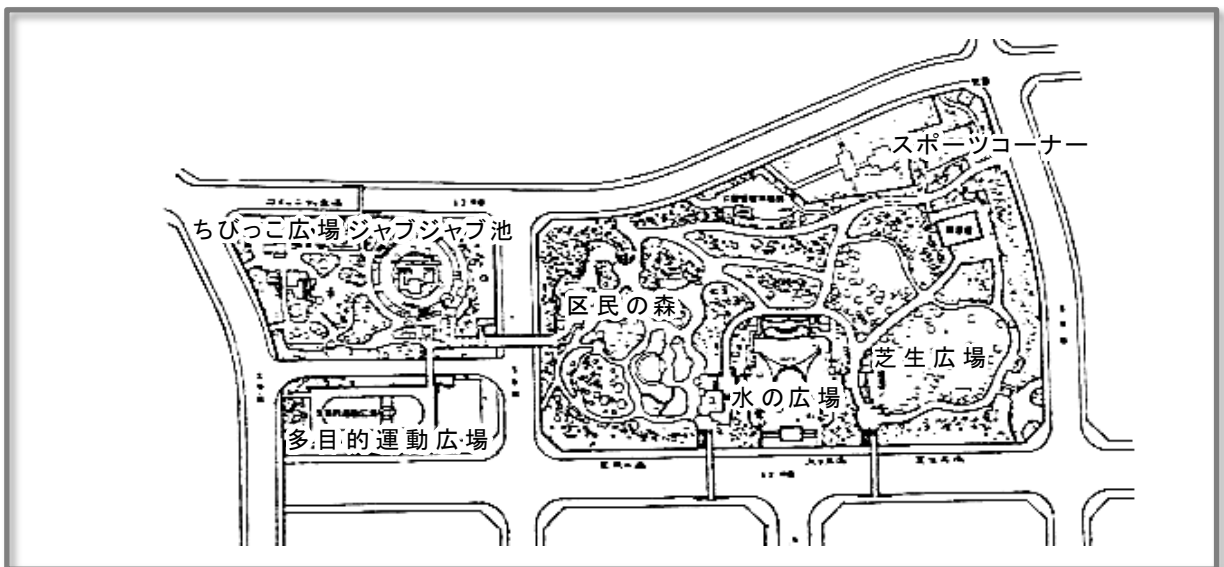
今後も周辺地域の皆さまや民間事業者等の多様な主体と連携しながら、新宿中央公園の更なる魅力の発信を続けてまいります。

資料) 新宿中央公園の変遷

和暦	西暦	新宿中央公園に関わる動き	新宿での主な動き
昭和 20	1945		●四谷・牛込・淀橋の大部分が空襲により焼失
22	1947		●牛込・四谷・淀橋3区が統合し、新宿区誕生
32	1957	●東京都が淀橋浄水場の移転決定	●新宿通りのグリーンベルト撤去
35	1960	●副都心計画事業、新宿駅西口の立体広場計画が都市計画決定 ●新宿副都心建設公社設立	
38	1963	●十二社の小西六写真工業(現コニカミノルタ)が日野市へ移転	●甲州街道新宿陸橋拡張工事完成
39	1964	●新宿副都心の造成工事開始	●新宿民衆駅、新宿ステーションビル完成
40	1965	●淀橋浄水場閉鎖、東村山へ移転	
41	1966	●新宿副都心建設公社事業完了	●新宿駅西口立体広場が完成 ●新宿区役所新庁舎落成 ●国鉄新宿駅の乗降客数日本一に
43	1968	●都立新宿中央公園の開園 ●十二社池、埋め立てられ姿消す	●新宿騒乱事件
46	1971		●京王プラザ開業
50	1975	●公園が都から区へ移管	●新宿駅周辺の地下道連絡通路開通
51	1976	●燵(やわらぎ)の像の設置(寄贈)	●安田火災海上ビル完成
52	1977	●改造計画の開始 ●瞭(りょう)の像の設置(寄贈)	
53	1978	●久遠(くおん)の像の設置(寄贈)	●新宿文化センター落成
57	1982	●ツアブツアブツ池・ナイガウの滝の整備	●「笑っていいとも」放送開始
58	1983	●区民の森・芝生広場の整備	
59	1984	●改造工事の完了	●新宿貨物駅での貨物取扱廃止
62	1987	●平和の鐘の設置	
63	1988	●ちびっこ広場木製遊具の整備	●新宿駅西口地下広場の新しい噴水が完成
平成元	1989	●髪(かみ)の像の設置(寄贈)	●新宿ILUVA・工学院大学新校舎完成
2	1990	●絆(きずな)の像の設置(寄贈)	
3	1991	●銀世界の梅の里帰り(寄贈)	●東京都庁移転 業務開始 ●ワヂー・ストリート、メッセ・ロードの開通
5	1993	●公園大橋の整備	
6	1994		●東京カクタツ跡地に「新宿ハートタワー」完成
7	1995	●管理事務所の移設	
8	1996		●丸ノ内線「西新宿駅」開業
10	1998	●都営大江戸線の建設に伴う水の広場の改修	●「内藤新宿」宿場開設 300 年
12	2000		●都営地下鉄「大江戸線」全線開通
14	2002	●ピオトープの整備	
18	2006	●北側入り口の花時計の整備	
20	2008	●エコギャラリー新宿の改装	●東京メトロ「副都心線」池袋～渋谷間開業 ●モード学園コクーンタワー完成
21	2009	●電気設備改修工事	●新宿 WE バス運行開始
22	2010	●ちびっこ広場トイレの整備	●玉川上水・内藤新宿分水散歩道の通水式
23	2011	●管理事務所脇トイレの整備	
24	2012	●スポーツコートトイレの整備	●新宿駅東西自由通路工事着工
25	2013	●指定管理者制度の導入	●2020 年開催東京都に決定
26	2014	●フットサルコート	
28	2016	●自転車シェアリングのサイクルポートの整備	
29	2017	●「新宿中央公園魅力向上推進プラン」策定 ●大型複合遊具の整備 ●新宿中央公園開園 50 周年	●区成立 70 周年
30	2018	●水の広場トイレの整備 ●トイレへのネーミングライツ導入	
31	2019	●芝生広場交流拠点施設整備事業者の決定 ●「健康遊具の森」の機能移転	



開園当時の平面図（昭和 44 年 11 月）



全面改造工事後の平面図（昭和 59 年 3 月）



現況平面図（平成 30 年 12 月）

上空からみた新宿中央公園

写真 60

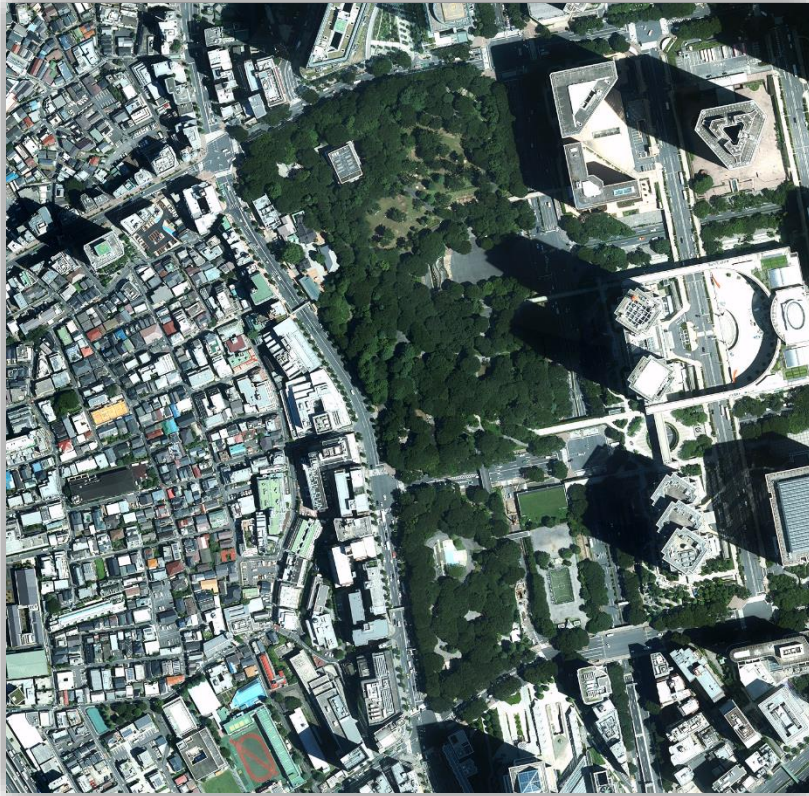
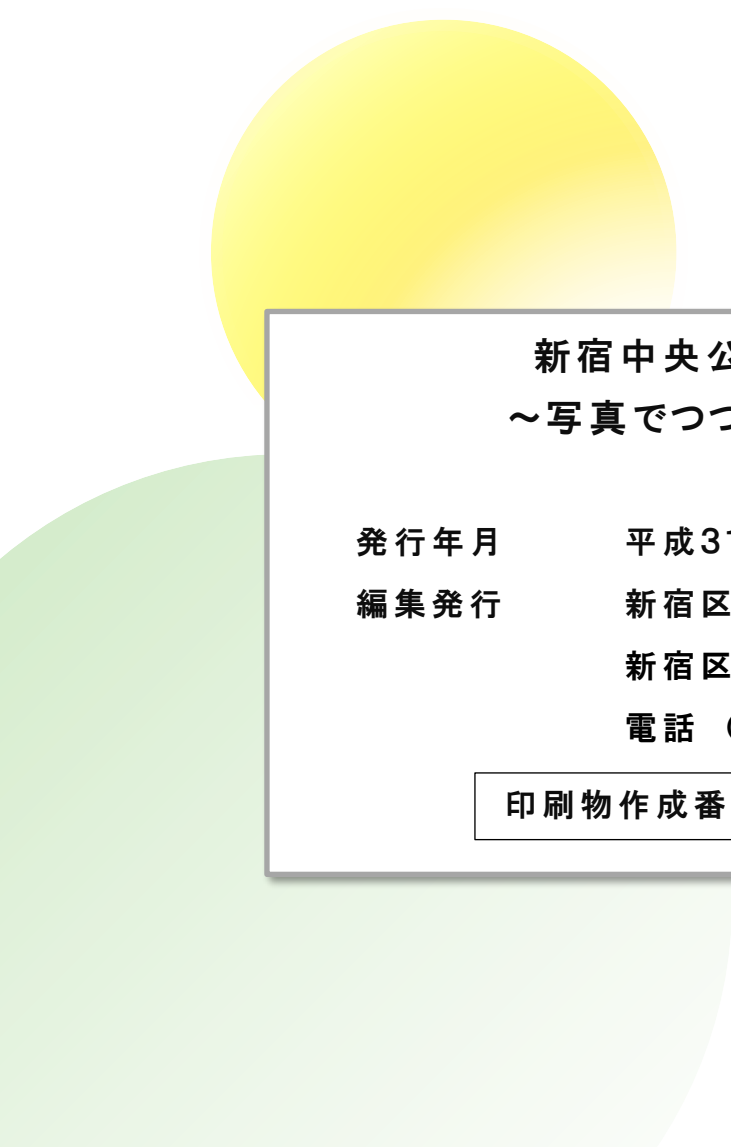


写真 61



出典	写真番号
新宿区立新宿歴史博物館 所蔵	2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,14,15,16, 17,18,19,20,21,22,23,24,32,39,44
新宿区みどり土木部みどり公園課 所蔵	1,27,31,33,34,40,41,42,43,45,46, 47,49,54,56,57,58,59,60,61
「新宿中央公園造成工事の概要」 財団法人 新宿副都心建設公社	13,25,26,28,29,30,35,36,37,38
新宿中央公園管理事務所指定管理者 一般財団法人公園財団 所蔵	48,50,51,52,53,55



新宿中央公園 50周年記念
～写真でつづる半世紀の歩み～

発行年月 平成31(2019)年2月
編集発行 新宿区みどり土木部みどり公園課
新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
電話 (03)5273-3914

印刷物作成番号 2018-4-3807